

東日本大震災義援プログラム

ビジネスパーソンのコミュニティプログラム

霞が関シアター + トークイベント

霞が関から文化プロジェクトとは文化がもたらす豊かさなどを霞が関から発信し、社会を元気にしていくことを目的とする、文化庁が推進しているプロジェクトです。

霞が関から

文化力

POWER OF CULTURE

2011年11月2日(水)

上映会第1回	16:30 ~ 17:58 (開場 16:15)
上映会第2回	18:45 ~ 20:09 (開場 18:30)
トークイベント	20:15 ~ 21:00
交流会	21:10 ~ 22:30

* 第1回上映会、第2回上映会+トークイベント入れ替え制

~いのちのきずなを求めて~

無縁社会、孤立化など、社会の閉塞感が叫ばれ、

3. 11後には多くの人が生き方を見つめなおしているなか、いのちの特徴である

ちがう・かわる・かかわる・・・を大切に、学びとは、働くとは、生きるとは・・・を探究し続ける93歳の教育研究者、大田堯の歩み・その姿を通して、私たちの未来をみつめるドキュメンタリー映画。

かすかな光へ

製作・著作：ひとなるグループ 監督：森康行 音楽：林光 詩：「かすかな光へ」作・朗読 谷川俊太郎
ナレーション：山根基世 朗読：津嘉山正種ほか 配給：ウッキー・プロダクション



トークイベント

生きるとは、学ぶとは・・・大田先生とお会いして改めて思う

ゲスト 寺脇 研さん(京都造形大学教授・映画評論家・カタリバ大学学長・元文科省官僚)

三十余年前、当時文部省の裁判担当者として被告側の席に坐っていた駆け出し役人のわたしは、家永教科書裁判の法廷で大田先生の毅然とした証言に、密かに感動した。わたしが教育行政の中で「生涯学習」から世に言う「ゆとり教育」への流れを推進する原動力になったのは、学習あってこそ教育は成り立つという思いだ。そう思ったわたしは、表に出ない勝手な押しかけ弟子?この映画を観て、改めて大田先生とお目にかかりたくなった。ここにあるのは戦前から戦後への教育の歴史。21世紀の今、現在それがどうなっていて、震災と原発事故を経験した今、未来にそれがどうなっていくべきか…伺いたいことは多い。日本の教育に関心がある者、必見。



イベント詳細

【会費】上映会+トークイベント

- ・霞が関ナレッジスクエアメンバー(有料会員) 1,000円
- ・一般(無料 Web 会員・その他) 1,500円
- ・学生(無料 Web 会員・その他) 500円
- ・交流会(希望者のみ) 2,000円(予定)

* 上映会+トークイベントの会費は当日持参ください。

交流会については、参加希望者数によって会場と会費を決めてご案内します。

霞が関ナレッジスクエアでは、参加費の中からお一人様につき500円を東日本大震災の被災地、宮城県岩沼市に直接義援金としてお送りします。

【募集人数】上映会 各80人 交流会 30人

【お申込み方法】WEBサイトからお申し込みください。

霞が関ナレッジスクエア Web サイト <http://www.kk2.ne.jp/>

* お申し込みには無料のWEB会員登録が必要です。

【主催】財団法人高度映像情報センター(AVCC)

開催場所

霞が関ナレッジスクエア

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-2-1
霞が関コモンゲート ショップ&レストラン西館3階



- ・銀座線「虎ノ門駅」5番出口より徒歩1分
- ・丸の内線/千代田線/日比谷線「霞が関駅」A13番出口より徒歩6分

お問合せ

財団法人高度映像情報センター(AVCC) 霞が関ナレッジスクエア
【電話】03-3288-1921 【FAX】03-5157-9225